

西京区の関係機関の連携による認知症ケア体制の構築への取組

西京医師会が中心となって西京区内全体で行政、医療、介護、福祉をはじめとする関係機関の連携により、認知症ケア体制の構築に取り組んでいます。

■ 西京区認知症地域ケア協議会

1. 背景、経過

(1) 平成19年度

今後、洛西ニュータウンの急激な高齢化が進み、認知症患者の増加が予想される中、西京医師会員個々の認知症に対する理解・関心に差があり、西京医師会としても認知症に対する連携の仕組みづくりができていませんでした。

一方、10年の空白期間を経て再開したネットワーク会議(地域包括支援センター、病院連携室、歯科医師会、薬剤師会など関係者が集まる会議)でも認知症の問題がしばしば話題となり、何らかの対応を迫られていました。

そこで認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるため、隣接する下京・南区の取組を参考にすべく、関係者のみの集まりとして、第1回西京区認知症地域ケア懇話会を実施しました。

【第1回西京区認知症地域ケア懇話会
(平成20年3月29日 参加者18人)】
講演：下京西部医師会 関透会長
「下京区・南区認知症ケア地域連携協議会の
設立までの経緯・組織などの概要について」

(2) 平成20年度

西京区認知症地域ケア懇話会の世話人会を設け、会則を決めた後、代表世話人を選出しました。世話人会を重ね、地域連携の方法、第2回懇話会に向けた取組を検討しました。

代表世話人：北村裕展（医師会）
世話人：岸 信之（京都桂病院）
河本恭裕（洛西シミズ病院）
土井たかし、塚本忠司（医師会）

医療、介護関係者のみならず、民生委員・児童委員、学区社会福祉協議会など地域の関係者にひろく声掛けをして、第2回西京区認知症地域ケア懇話会を開催しました。

【第2回西京区認知症地域ケア懇話会
(平成21年1月17日) 参加者251人】
＜内容＞
・「認知症の地域での事例報告」
西京・北部地域包括支援センター 松尾勝弘
・「認知症の日常診療」
シミズ病院 神経内科 河本恭裕
・「認知症の診断と治療～その流れと現状について～」
武田病院 秋口一郎

100名程度の出席見込みでしたが、予想をはるかに超える250名余の参加者で、地域の認知

症に対する関心の高さを知らされ、医師のみでなく広く地域の関係者の参加した会の必要性を認識させられ、それに向けて検討を重ねることとなりました。

(3) 平成21年度

第2回西京区認知症地域ケア懇話会后、西京区において認知症ケアのための課題の抽出・整理を行いました。

【課題】

- ① 認知症の早期診断・治療のための病診、診診連携が確立されていない。(医師会)
- ② 認知症の診断施設がどこなのか分からない。(かかりつけ医)
- ③ 高度の認知症患者の受入施設が分からない。(かかりつけ医、福祉関係者)
- ④ 認知症の啓発が浸透していない。(区民、患者家族)
- ⑤ 周辺症状対応の精神科病院がない。(社会資源)
- ⑥ 多くの方が相談できる医師を必要としている。

課題解決に向け、西京区認知症地域ケア懇話会世話人会で具体的な連携システムや認知症に関する広報・対応能力の向上等について関係機関が集まって協議する会の設立を進め、準備世話人会議・準備実行委員会を経て、西京区認知症地域ケア協議会を設立しました。

(設立総会 平成21年10月24日)

2. 目的、ねらい

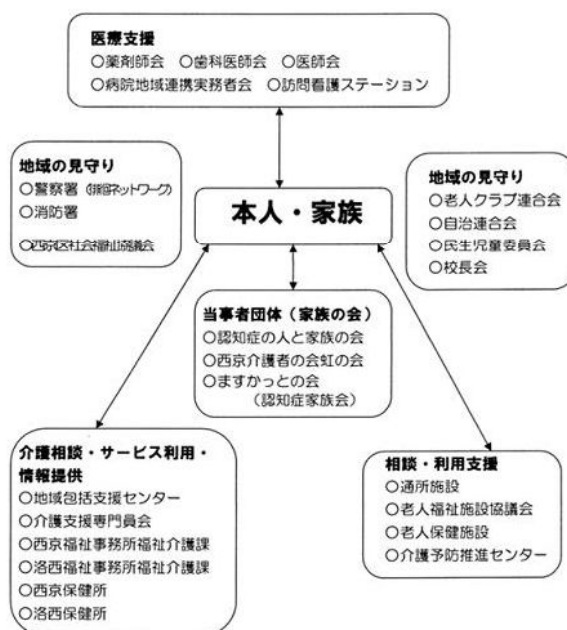
西京区全体で認知症の早期発見から早期診断・治療、地域ケアの体制を関係者が協力して構築すること、及び、認知症になっても安心して過ごせる西京区とするための広報・啓発、関係者の対応力向上・検討協議などを行うために西京区認知症地域ケア協議会を設立しました。

【活動内容】

- ① 診断・治療・地域ケアの連携体制の構築
- ② 地域における認知症に関する啓発
- ③ 関係者の対応力向上のための研修
- ④ 関係者の交流・情報交換

◆ 西京区認知症地域ケア協議会設立総会

(平成21年10月24日)



西京区役所福祉部
西京区役所洛西支所福祉部
西京保健所
西京警察署
西京消防署
西京区社会福祉協議会
西京区自治連合会
西京区民生児童委員協議会
中学校長会会長
老人福祉施設協議会
介護予防推進センター
家族の会(3団体)
老人クラブ連合会
地域包括支援センター
通所介護施設連絡会
介護支援専門員会
訪問看護ステーション連絡会
病院地域医療連携連絡会
京都府歯科医師会西京支部
京都府薬剤師会西京支部
西京医師会

3. 取組内容

協議会参加機関がそれぞれの役割に基づき、地域全体で認知症ケア体制を構築しています。

参加機関名【役割】

- 西京区役所【広報、啓発、会場の提供など】
- 西京警察署、西京消防署【地域での見守り援助】
- 中学校学校長会【啓発】
- 老人福祉施設協議会、通所介護施設連絡会、介護支援専門委員会【早期発見、見守り援助、経過観察】
- 民生児童委員、自治連合会、老人クラブ連合会【早期発見、地域での見守り】
- 地域包括支援センター、介護予防推進センター【啓発、早期発見・援助】
- 家族の会（3団体）【情報提供】
- 訪問看護ステーション連絡会、病院地域連携連絡会【見守り経過観察】
- 西京歯科医師会、西京薬剤師会【早期発見・援助】
- 西京医師会【早期診断・治療・経過観察の体制確保】

※協議会の中に意見交換、協議会の活動を行うために必要な議案の協議決定を行う世話人を設置し、定例で会議を実施しています。

また、認知症ケアの改善の検討、認知症の啓発及び認知症に対する対応力向上を目的とする催しなどについて協議する実行委員会を定例で実施しています。

(1) 地域に対する認知症に関する啓発

ア 西京区認知症区民公開講座

西京区認知症区民公開講座の実施内容

第1回(平成21年11月14日 参加者約260名)

一般演題「行政の認知症に対する取組について」
「西京区認知症地域ケア協議会における早期診断から経過観察の流れについて」

特別講演：「認知症ってどんな病気？」
認知症介護研究研修東京センター
本間 昭 センター長

第2回(平成22年9月4日)

講演：「認知症の医療とケア～今とこれから～」
認知症介護研究研修東京センター
名誉センター長
聖マリアンナ医科大学名誉教授
長谷川和夫

第3回(平成23年9月24日)

講演：「認知症の人を理解する」
東北福祉大学健康科学部教授
浅野弘毅

イ 市民向け啓発リーフレットの作成、配布
認知症の早期診断・治療を促進するためのリーフレット「もの忘れかな？と思ったらまずチェック」(99ページ参照)、認知症と診断された方及びその家族向けのケア促進のためのリーフレット「認知症と診断されたあなたとご家族のために」(100ページ参照)を作成し、関係機関等に配布し、地域全体で認知症を支援する体制に関する取組を行っています。

(2) 診断・治療・地域ケアの連携体制の構築

かかりつけ医、もの忘れ相談医における初期診断(1次スクリーニング確認)の実施、二次診断協力医療機関への連絡方法、連絡様式、周辺症状相談医療機関、入院受入病院への相談方法を含めた確定診断後の対応方法を定めた診断・経過観察の仕組みを構築しています。(101～104 ページ参照)

(3)関係者の対応力向上

ア 関係者研修

協議会構成団体などの関係者の認知症に対する理解の向上を目的に開催しています。

関係者研修

第1回《第二回総会と同時開催》(平成 22 年6月 19 日 参加者 87 名)

講 演：公益社団法人認知症の人と家族の会 高見国生 代表理事
「認知症の人と家族を支える地域づくり—関係する人々に望むこと—」

第2回《第三回総会と同時開催》(平成 23 年6月 11 日 参加者 142 名)

①患者さんご自身と家族のお話
②パネルディスカッション「協議会の活動について～それぞれの立場から～」
民生児童委員：桂川学区会長 大塚良弘 氏
医 師：内田医院 内田 亮 氏
西京・南部地域包括支援センター：看護師 安國 佳代子氏
認知症の人と家族の会：家族会 小枝指 恵子氏

イ 勉強会（医療介護関係者研修）

医療介護関係者の対応力向上を目指して開催しています。

勉強会(医療介護関係者研修)

第1回(平成 22 年2月 20 日 参加者 94 名)

講 演：京都桂病院精神科 岸 信之 部長「精神科病院への医療保護入院について」
講 演：京都府立洛南病院精神科 森 俊夫 診療部長「認知症—BPSD への対応—」

第2回(平成 23 年2月5日 参加者 67 名)

講 演：いわくら病院認知症病棟 矢田部信行 師長
「精神科の認知症治療病棟で実践している事」

第3回《兼かかりつけ医認知症対応力向上研修》(平成 23 年2月 19 日 参加者 131 名)

講 演：認知症サポート医 西山病院地域医療部 才村泰生 部長
「認知症患者の対応と連携」
認知症の事例についてのグループワーク
グループより発表・サポート医のコメントとまとめ

第4回《兼第9回桂御所町マルチケアセミナー》(平成 23 年5月 28 日 参加者 62 名)

講 演① 地域での認知症ケアへの取り組み
講 演② 三菱京都病院糖尿病内科 中野忠澄 部長「糖尿病と認知症」
特別講演：京都大学医学部附属病院 老年内科 武地 一 講師
「認知症の診断と治療～最近の展開～」

第5回《兼第4回西京医師会と薬剤師会との懇談会》(平成 23 年7月 16 日 参加者 45 名)

講 演：宇多野病院神経内科 須藤慎治 医長「アルツハイマー型認知症の病態と治療」

第6回《兼西京医師会学術講演会》(平成 23 年 10 月 15 日 参加者 43 名)

講 演：舞鶴医療センター神経内科 吉岡 亮 部長
「認知症の診断と治療に関する新しい話題」

第7回《兼第8回西京地域医療介護関係者懇談会》(平成 24 年3月 10 日 参加者 70 名)

講 演：京都府立洛南病院精神科 森 俊夫 診療部長 認知症サポート医のお話
グループディスカッション

ウ 事例検討会

医療介護関係者が困難事例を参加者全員で協議検討し、専門医のアドバイスも得て、その対応力向上を図るために開催しています。

事例検討会

第1回(平成 22 年 11 月 25 日 参加者 25 名)

2 事例検討意見交換

- ①子は遠方の妻高度認知症の高齢夫婦世帯の事例
- ②介護受け入れ拒否しゴミ屋敷に住む高齢女性の事例

第2回(平成 23 年 7 月 28 日 参加者 46 名)

2 事例検討意見交換

- ①認知症夫婦のパーソンセンタードケアと医療への関わり
- ②夫婦共に認知症の症状があり早急に支援につなげたいが、サービス利用につながらないケース

第3回(平成 23 年 11 月 24 日 参加者 46 名)

2 事例検討意見交換

- ①「私はひとりで大丈夫?!」独居・徘徊・援助拒否、在宅生活の限界は?
- ②「自分らしさを保ち続けたい!」介護が受け入れられず心身の悪化を引き起こしているケースの思いをかなえるために

エ 認知症に関する困難事例をまとめた事例集の作成

困難事例に直面したときの解決のヒントとして、宇治市認知症ケアネットワーク（構成員：地域包括支援センター、宇治市役所、医療機関、学識経験者、居宅介護支援事業所）で議論、検討していた支援困難事例のデータベース化と解析作業の結果について、西京区認知症ケア協議会が「事例集」として平成 24 年 3 月に発行しました。（105 ページ参照）

4. 効果, 今後の方向性

西京医師会の呼び掛けにより,「西京区認知症地域ケア協議会」を中心として,認知症の早期発見,早期診断,地域での見守りや支援体制に関する取組をはじめたところです。

今後は,かかりつけ医の拡大,地域の見守りの拡大,認知症に関する周知・広報の拡大を図っていく必要があります。

実績(平成21年11月～平成22年10月)

- ・紹介数:20名(男7,女13)
- ・紹介先:K病院12,R病院8
- ・紹介元:D内科5,U内科4,
T内科3,Ia内科2,Y整形2,
Y内科2,Ib内科1

最終診断

診断	人数
アルツハイマー型	10
MCI	2
前頭側頭型	1
混合型	1
加齢性変化	2
確定診断に至らず	1
不明	3

2次医療機関からみた実績

- ・紹介数:59名
- ・紹介経路:
ケア協議会:19
一般:40
- ・診療科
神経内科:30
精神科:28
脳外科:1

最終診断

診断	人数
アルツハイマー型	25
脳血管性	2
前頭側頭型	1
混合型	2
脳腫瘍	3
MCI	2
うつ病	1
軽躁病状態	2
神経梅毒	1
正常圧水頭症	1
副作用	1
確定診断に至らず	19

西京区認知症地域ケア協議会 会則	
第一章 総 則	
第一条 名称	本協議会の名称は『西京区認知症地域ケア協議会』とする。
第二条 事務局及び所在地	本協議会の事務局は、一般社団法人西京医師会に置く。 所在地は、京都市西京区上桂前川町116番地インペリアル上桂202号である。
第二章 目的及び活動	
第三条 目的	本協議会は、地域における認知症の方の早期発見から早期診断・治療・地域ケアの体制を関係者が協力して構築すること、及び、認知症になっても安心して過ごせる西京区とするために広報・啓発・関係者の対応力向上・検討協議などを行うことを目的とする。
第四条 活動	本協議会は、前条の目的を達成するために次の活動を行う。 1. 診断・治療・地域ケアの連携体制の構築。 2. 地域における認知症に関する啓発。 3. 関係者の対応能力向上のための研修。 4. 関係者の交流・情報交換。 5. その他、目的を達成するための活動。
第三章 構 成	
第五条 構成	本協議会の目的・活動に賛同し、活動に参加する団体等により構成する。 1. 構成団体等は、西京福祉事務所・洛西福祉事務所・西京保健センター・西京警察署・西京消防署・西京区社会福祉協議会・京都市立中学校長会 西京支部・西京区自治連合会・西京区民生児童委員会・西京区老人クラブ連合会・京都市地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議

会西京支部・認知症の人と家族の会・虹の会・ますかつとの会・京都市老人福祉施設協議会西京支部・西京区通所介護施設連絡会・介護支援専門員会・西京区地域介護予防推進センター・西京地域訪問看護ステーション連絡会・病院地域連携実務者会・京都府薬剤師会西京支部・京都府歯科医師会西京支部・西京医師会・西京コンビニ防犯対策協議会・京都経済短期大学である。	
第六条 賛助団体等	1. 前条の構成団体以外に、本会の目的に賛同し協力することを申し出た団体・企業を賛助団体等とする。 2. 賛助団体等となるには世話人会議の了承を得ることとする。
第七条 新たな団体等の参加	本協議会への新たな参加は、世話人会議の同意を必要とする。
第四章 役員及び顧問	
第八条 会長	本協議会に会長を置く。 1. 会長には社団法人西京医師会会長がつく。 2. 西京医師会会長の交代に従い交代する。 3. 会長は、本協議会の運営を統轄する。
第九条 世話人	本協議会に参加する団体等の部門ごとに世話人を置く。 1. 世話人は、部門ごとに各部門の実務者などより関係者の協議で推薦し、会長が任命する。 2. 世話人は、部門ごとの協議で交代を会長に申し出ることができる。 3. 世話人は、部門毎の意見などを本協議会運営に反映するために集約する。 4. 世話人は、本協議会よりの連絡事項を関係者に伝達する。 5. 部門は、福祉事務所・保健センター・警察署・消防署・社会福祉協議会・中学校長会・自治連合会・民生児童委員会・老人クラブ連合会・地域包括支援センター・認知症の人と家族の会・虹の会・ますかつとの会・老人福祉施設協議会・通所介護施設連絡会・介護支援専門員会・西京区地域介護予防推進センター・訪問看護ステーション連絡会・病院地域連携実務者会・薬剤師会・歯科医師会・医師会・西京コンビニ防犯対策協議会・

京都経済短期大学などとする。

第十条 世話人会議

世話人は、定例で世話人会議を開催し、意見交換及び本協議会の活動を行うために必要な議案の協議決定を行う。

1. 世話人の互選で代表世話人を選出し、代表世話人が世話人会議の司会進行を行う。
2. 世話人会議での決定事項は、会長の承認の上、本協議会の名で関係者に報告する。
3. 代表世話人は、世話人会議の開催日時・協議事項などを世話人などと相談の上決定し、各世話人に通知する。
4. 代表世話人の指名で、副代表世話人を置くことができる。
5. 副代表世話人は、代表世話人に事故があった場合にその代行をする。

第十一条 実行委員会

本会主催の催しなど実務の検討を行うため実行委員会を置く。

1. 実行委員会は、構成団体等よりの委員長一名、委員若干名と賛助団体等よりの協力委員若干名で構成する。
2. 委員および協力委員は、本協議会の構成団体等及び賛助団体等の中より会長が選任し、世話人会議の同意を得て就く。
3. 実行委員と世話人の兼任は妨げない。
4. 委員の互選で委員長を選出する。
5. 委員長の指名で副委員長を置く。
6. 副委員長は、委員長に事故のあった場合その代行をする。
7. 委員の任期は二年とするが再任は妨げない。
8. 委員が任期途中で止むを得ない事情で委員を交代した場合の任期は前任者の残りとする。

第十二条 実行委員会議

実行委員及び協力委員は、実行委員会を定例で開催し、認知症地域ケア改善の検討を行うとともに、認知症啓発及び認知症に対する対応力向上を目的とする催しなどについて協議する。

1. 実行委員会議で協議した結果は、世話人会議に報告し、必要なものについては承認を得る。
2. 実行委員会議は、委員長が司会進行を行う。
3. 実行委員会議の開催日時などは、委員長が委員の都合を聞き決定し通知

する。

第十三条 顧問

本協議会に顧問を置くことができる。

第五章 会議

第十四条 会議の開催

本協議会は、以下の会議を行う。

1. 本協議会の総会を年一回開催する。
2. 世話人会議を概ね半年に一回開催する。
3. 実行委員会議は、概ね3ヶ月に一回開催する。

第十五条 会議の招集

本協議会の行う会議の招集は下記のものを行う。

1. 総会は世話人会議の意見を聞き会長が招集する。
2. 世話人会議は、代表世話人が招集する。
3. 実行委員会は、委員長が招集する。

第六章 事務局

第十六条 事務局

本協議会の事務局は、西京医師会事務局が担当する。

1. 本協議会事務局担当者を西京医師会地域連携委員会委員より会長が選任する。
2. 事務局担当者は、代表世話人及び実行委員会委員長の指示の下に事務処理を西京医師会事務局とともに行う。
3. 事務局担当者は、会長の交代の都度選任するものとするが再任は妨げない。

第七章 補則

第十七条 会則の改定

本会則の変更を必要とした場合は、世話人会議の承認を得て改定する。

第八章 付則

付則

この会則は、平成 21 年 10 月 24 日より発効する。

改定

平成 24 年 2 月 18 日第五回世話人会議の承認を得て改訂。

『西京区認知症地域ケア協議会』世話人・実行委員名簿

【世話人名簿】 (敬称略)

	お名前	部門・団体等	ご所属・役職等
代表	北村 裕展	西京医師会	北村内科診療所
副代表	源野 勝敏	老人福祉施設協議会	京都厚生園・園長
世話人	栗山 令	西京福祉事務所	支援保護課長
〃	本田 義光	洛西福祉事務所	支援保護課長
〃	林 美保子	西京保健センター	健康づくり推進課担当課長
〃	丸山 公一	西京警察署	生活安全課長
〃	吉川 泰二	西京消防署	警防課長
〃	福田 正博	西京区社会福祉協議会	事務局長
〃	足立 徹	京都市立中学校長会西京支部	大原野中学校長
〃	俣野 武夫	西京区自治連合会	副会長
〃	並川 健夫	西京区民生児童委員会	民生児童委員
〃	植枝 正昭	西京区老人クラブ連合会	会長
〃	高谷 みどり	地域包括支援センター	桂川地域包括センター
〃	長田 由里子	西京区地域介護予防推進センター	センター長
〃	大町 加奈子	通所介護施設連絡会	西京老人デイサービスセンター
〃	谷岡 延子	介護支援専門員会	京都府介護支援専門員会 南ブロック委員
〃	鎌田 智広	訪問看護ステーション連絡会	訪問看護 S「アドナース」所長
〃	鎌田 松代	認知症の人と家族の会	京都府支部 副代表
〃	瀧本 幸子	虹の会	代表
〃	竹原 千恵子	ますかつとの会	会長
〃	柴田 亮	病院地域連携実務者会	シミズ病院
〃	佐々木 悦男	京都府歯科医師会西京支部	佐々木歯科医院
〃	岡 四郎	京都府薬剤師会西京支部	支部長
〃	大内 泰之	西京コンビニ防犯対策協議会	セブン・イレブン京都上桂山田口店
〃	下村 泰彦	京都経済短期大学	事務部長

【実行委員名簿】

	お名前	部門・団体等	ご所属・役職等
委員長	土井 たかし	西京医師会	土井内科医院
副委員長	鎌田 松代	認知症の人と家族の会	京都府支部 副代表
実行委員	富家 由美子	西京区社会福祉協議会	
〃	河村 佐和子	地域包括支援センター	桂川地域包括支援センター
〃	河本 恭裕	西京医師会	洛西シミズ病院
〃	岸 信之	西京医師会	京都桂病院
〃	北村 裕展	西京医師会	北村内科診療所
事務担当	塚本 忠司	西京医師会	塚本医院

もの忘れかな？

と思ったら

まずチェック！

複数
はい なら
すぐ相談



西京区認知症地域ケア協議会

西京区認知症地域ケア協議会とは・・・
地域の体制を整えて、認知症になってもしっかりと過ごせる
西京区にすることを目的として、行政・医療・介護・家族会
などの関係者が連携して取り組むためにつくった集まりです。

事務局：〒615-8211
京都市西京区上桂前川町116 インベリアル上桂202
西京医師会事務局内
電話 075-393-5733 FAX 075-393-5644

もの忘れチェックリスト

- | | |
|---|--|
| ① 同じことを何度も言ったり、聞いたたり
するようになった。 | ☐ はい ☐ いいえ |
| ② 話すとき言葉がでにくくなった。
もの名前が言えず「あれ」「これ」
などと言うようになった。 | ☐ はい ☐ いいえ |
| ③ 以前はあった関心や興味が失われた。 | ☐ はい ☐ いいえ |
| ④ 置忘れやしまい忘れが目立つ。
しばしば財布や物品を盗まれたという
ようになった。 | ☐ はい ☐ いいえ |
| ⑤ 日課、計算、身辺の管理ができない。
(以下のいずれか)
・日課をしなくなった
・計算の間違いが多くなった
・蛇口やガス栓の閉め忘れが目立つ
・薬の管理ができない | ☐ はい ☐ いいえ |



● 地域で活動する家族の会 ●

まずは西京区社会福祉協議会にご連絡ください。
☎075-394-5711

西京介護者の会「虹の会」

“ひとりぼっこの介護者をなくそう”をモットーに
介護の苦労は抱え込まないで仲間を作って悩み相談ができるよう
にしましょう。毎月1回会報の発行をはじめ、年間を通して施設
見学会、介護にまつわる研修会、介護者リフレッシュ旅行など様々な
活動を行っています。

西京認知症老人を抱える家族の会「ますかつの会」

認知症介護は大変！でも皆で支えあえば気持ちも「まあ、スカッ」と
毎月3回の楽しい「第1土曜日 交流会」「第3土曜日 交流会・作業集」
「第3木曜日 ハーモニカ教室」をしています。
わたしもあなたも笑顔が必要です。一緒に楽しみましょう。

もの忘れ チェックリスト

西京区で活動 している 家族会

もの忘れ相談医

<ご利用について>

- 「かかりつけ医」が西京区にある診療所の医師の場合、
診療所にいかにあわす。まずそちらでご相談ください。
- 「かかりつけ医」が病院や西京区以外の診療所の場合、
通院しやすいところをこのリストから選んで、直接
お電話にてお問い合わせください。
「かかりつけ医」または「もの忘れ相談医」で一次診断
し、確定診断のために二次診断協力病院へ紹介します。
- 治療、経過観察は「かかりつけ医」または「もの忘れ
相談医」で行います。



あしだ内科循環器科
西京区上桂北ノ町67 ☎075-383-5315

井田医院
西京区松尾木ノ苗町58-15 ☎075-381-9572

板倉内科医院
西京区上桂三ノ吉町60 ☎075-381-7936

稲井医院
西京区大森南堀西町2-13-12 ☎075-332-0111

岩瀬医院
西京区松尾池上町18-16 ☎075-381-5812

いわけ内科クリニック
西京区川島六ノ坪町63-1 ☎075-382-3358

内田医院
西京区大森西新井町6-15-8 ☎075-331-5200

大枝クリニック
西京区松尾南ノ海通10-43 ☎075-381-2716

大森大枝クリニック
西京区大森高森町2-32 ☎075-331-0100

緒方医院
西京区都賀大枝山町4-24-1 ☎075-335-5500

奥沢眼科医院
西京区都賀千代町72-13 ☎075-391-7721

根並医院
西京区都賀通町21-7 ☎075-381-1403

かまの外科医院
西京区大森北堀西町3-2-10 ☎075-333-0805

神山医院
西京区松尾万石町10-13 ☎075-394-3939

北村内科診療所
西京区松尾木ノ苗町36-1 ☎075-393-3262

しくま脳神経外科クリニック
西京区上桂三ノ吉町80-1 ☎075-381-3000

杉本医院
西京区川島南堀川町17 ☎075-391-6155

西山療養所
西京区大森南堀西町200-1 ☎075-332-2030

そがへ医院
西京区大森南堀西町4-2 ☎075-392-8823

武田医院
西京区大森西堀町1-4 ☎075-381-2026

塚本医院
西京区川島南堀川町31 ☎075-381-2756

鶴田メンタルクリニック
西京区大森南堀西町126 ☎075-381-6631

土井内科医院
西京区大森南堀西町15-13 ☎075-331-3661

中原医院
西京区大森南堀西町52-10 ☎075-391-5736

中安外科医院
西京区大森南堀西町1-16 ☎075-332-6880

野々村皮膚科医院
西京区大森南堀西町38-6 ☎075-865-0646

野原診療所
西京区大森南堀西町57-4 ☎075-381-5840

林・徳原診療所
西京区川島南堀西町44 ☎075-381-2226

林クリニック
西京区大森南堀西町146 ☎075-333-0102

稲本整形外科
西京区大森南堀西町21 ☎075-393-0800

松尾青木診療所
西京区大森南堀西町44-12 ☎075-881-9251

松尾医院
西京区川島南堀西町22-8 ☎075-381-4130

松原医院
西京区大森南堀西町25 ☎075-381-2215

安本眼科クリニック
西京区大森南堀西町146 ☎075-394-1639

矢野クリニック
西京区大森南堀西町17-2 ☎075-381-5201

山口医院
西京区大森南堀西町12-14 ☎075-391-6161

吉田内科医院
西京区大森南堀西町5-7 ☎075-392-5171

吉村整形外科医院
西京区大森南堀西町4-3-1 ☎075-332-3590

診断された方へのリーフレット

認知症と診断された あなたと ご家族のために

認知症という病気を知り、あなたや家族の
手助けをしたいと思っている地域の仲間と
一緒に、笑顔で過ごせるように



西京区認知症地域ケア協議会

地域の体制を整えて、認知症になっても安心して過ごせる
西京区にすることを目的として、行政、医療、介護、家族会、
地域の諸団体の関係者が連携して取り組むためにつくった
集まりです。

事務局

〒615-8211 京都市西京区上桧山町116 インテリアム上桧202
西京区認知症事務局内
電話 075-393-5733 FAX 075-393-5644

診断された方へのリーフレット

- ご本人・家族へ
の声かけ
- 一人で悩まず抱
え込めぬように

認知症と診断された あなたとご家族へ

びっくりされたことでしょう。これから、
どのように生活していけばよいか将来の
不安など悩まれていることと思います。

しかし、診断されたからと言って、今日と
明日で何か変わるわけではありませんし、
体調に変化があるわけでもありません。
他の病気と同じように上手に付き合って
いきましょう。

「認知症になったら人生は終わり」と思って
いませんか？

一人で悩まないで。手助けしてくれる人は
たくさんいます。仲間や相談機関の情報を
得て、希望をもってこれからの生活を考え
ていきましょう。



【『西京区認知症地域ケア』での診断・経過観察の流れ】

I 確定診断まで

- 【1】 “かかりつけ医”（対象となる人がそう考えている医師）が西京区内の診療所（診療科は問わない）の医師である場合

① 家族・地域包括支援センター・民生児童委員などから「もの忘れについての相談」があれば懇切丁寧に対応し、一次スクリーニングを確認する。



② 5項目のうち2つ以上「はい」があれば、対象となった方に確定診断の必要性を説明し、同意を得たうえで、二次診断協力医療機関へ**専用の**診療情報提供書を用い紹介する。 ※1～5参照



③ 確定診断結果が届いたら、専用用紙の3枚目に診断結果を記載し、西京医師会事務局までファクシミリ（郵送にても可）で報告する。

※1 “かかりつけ医”として信頼されている医師より受診を勧めていただかないと確定診断のための受診に至りにくいと考えられるので、診療科にかかわらずご本人が“かかりつけ医”と考えている医師にお願いすることになりました。

※2 一次スクリーニングは、家族などからの聞き取りで簡便に出来るものとしています。但し、可能であれば改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、Mini Mental State Examination（MMSE）なども実施していただき、結果を情報としてご記載ください。

※3 “かかりつけ医”と思われていても相談に対応できない場合は『もの忘れ相談医』を受診するよう勧めてください。

※4 紹介する際、確定診断後の自院で経過観察が可能かどうかとも記載してください。

※5 紹介するとき、病院の場合は連携室を通じて診療の予約をとってください。

- 【2】 “かかりつけ医”（対象となる人がそう考えている医師）が西京区内の診療所（診療科は問わない）の医師でない場合、または“かかりつけ医”がない場合

① 西京医師会の『もの忘れ相談医』リストより対象者または家族など関係者が受診しやすい診療所を選び、電話などで連絡し受診につき相談して日時などを決める。



② 受診時は懇切丁寧に対応し、一次スクリーニングを確認し、可能であればHDS-R・MMSEなどもおこなう。



③ 一次スクリーニングで5項目のうち2項目以上「はい」があれば、確定診断の必要性を説明し同意を取り付けて、二次診断協力医療機関へ**専用の**診療情報提供書を用い紹介する。 ※1～2参照



④ 確定診断結果が届いたら、専用用紙の3枚目に診断結果を記載し、西京医師会事務局までファクシミリ（郵送にても可）で報告する。

※1 初診で紹介の同意を取り付けることは大変ですが、家族や関係者と協力して確定診断のための受診につなげてください。

※2 紹介するとき、病院の場合は連携室を通じて診療の予約をとってください。

II 確定診断後

◎確定診断後は、診療所の医師が経過を診る。
※ “かかりつけ医” が経過を診られない場合はもの忘れ相談医と相談し、引受先を確保する。

【1】 経過を診ていて再度診察を依頼したい場合

① 確定診断していただいた医師に再度紹介する。 ※ 1～2 参照。

※ 1 病院の連携室を通じて予約を取る。

※ 2 この場合も**専用**の用紙を使用する。

【1】 経過を診ていて周辺症状への対応に難渋した場合

① 周辺症状相談医療機関へ紹介し、治療についてのアドバイスを受ける。 ※ 1～2 参照



② それでも難渋する場合は、周辺症状相談医療機関へ治療を依頼する。



③ それでも対応困難となった場合、入院受け入れ協力医療機関に相談する。

※ 1 病院の場合連携室を通じて予約をとる。診療所の場合は電話して受診につき相談し、受診日を決める。

※ 2 この場合も**専用**の用紙を使用する。

III 入院加療を必要とした場合

周辺症状がひどく、周辺症状相談医療機関に相談して加療を受けてもなお対応が困難な場合、入院受け入れ協力医療機関に入院加療をお願いすることになります。

●入院受け入れ協力医療機関：財団法人長岡記念財団長岡ヘルスケアセンター(長岡病院)
財団法人療道協会西山病院
京都府立洛南病院

●注意事項

- 1 周辺症状を薬物でコントロールすることを目的とした入院となりますので、一ヶ月ほど（長くても数ヶ月）で症状が落ち着けば、**必ずもとの在宅に戻る**ことになります。入院前と同様に引き続き経過を診ていただきます。
- 2 身体症状のある方の入院は困難です。コントロールできた状態での入院依頼をお願いします。
- 3 もし、入院中に身体症状が発生し転院が必要となった場合、かかりつけ医として紹介などの対応をお願いします。
- 4 ご本人の意思で入院するのではない“医療保護入院”の場合（周辺症状コントロール目的の入院の場合ほとんどこうなっています）法的問題として**三親等以内の親族**の同意が必要となります（天涯孤独の人の場合は自治体の長）。
- 5 いきなり入院依頼はしないで、西京区内の周辺症状相談医療機関に相談下さい。
- 6 入院依頼は、まず各病院の外来受診（その時に入院加療希望する旨記載した診療情報提供書を持参）し、入院予約していただくこととなります。いきなり入院することはできませんので、関係者にすぐ入院できるかのように受け取られるようなことのなきよう配慮願います。
- 7 長岡病院はいずれの先生の外来でも可、西山病院は外来を予約、洛南病院は森俊夫先生の外来を予約してください。
長岡病院：075-951-9201（代表）
西山病院：075-955-2211
洛南病院：0774-32-5900（前月最初の平日午後2時から受付開始）

1 各機関の役割

確定診断まで

早期発見を手助けする、認知症発症の予防

認知症への理解や見守り、独居の人の変化を家族に知らせる

関係機関	役割
警察署	独居、高齢者世帯の把握、見守り
消防署	独居、高齢者世帯の把握、火災予防
西京社協	認知症予防教室、地域づくり
老人クラブ	認知症予防教室、会員相互の見守り活動、認知症の理解をひろめる
介護予防推進センター	介護予防教室、見守り
民生委員・老人福祉委員	訪問活動
校長会	子どもたちの認知症への理解を深める（福祉学習の中で認知症サポーター講座の開催）
自治連合会	認知症への理解（認知症講演会、認知症サポーター講座の受講）、地域での声かけ

確定診断後

安心・安全な生活への支援や見守り

医療の関わり	
薬剤師会	薬の説明、服用忘れ防止方法の紹介
歯科医師会	認知症の人に対応した口腔ケア、義歯・歯の治療
医師会	治療の継続
病院地域連携実務者会	二次診断等連携への協力など
訪問看護ステーション	訪問看護での療養相談
●介護相談、介護サービス利用、情報提供	
地域包括支援センター	総合相談
介護支援専門員会	サービス支援、ケアプランの作成
福祉事務所	介護保険の申請、居宅やサービス事業所の紹介、情報提供、広報
●当事者団体（家族の会）	
認知症の人と家族の会	本人・家族への支援、介護方法など相談への対応
西京介護者の会 虹の会	
ますかつとの会（認知症家族会）	
●サービス事業者	
通所施設	サービス提供の中での対応
老人保健施設	
老人福祉施設協議会	

